

コミュニケーションの いろいろ

コミュニケーションは会話だけではなく、さまざまな方法があります。障害の特性や本人の希望に合わせたコミュニケーションをすることで、お互いの意思や情報をスムーズに伝えあうことができます。

筆談

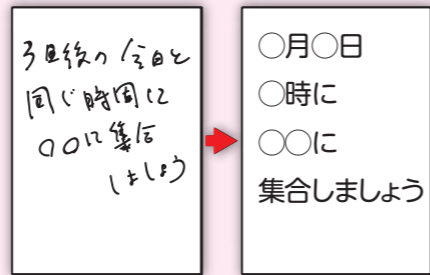
メモや筆談ボードなどを使用して、文字により意思や情報を伝えあう方法です。会話によるコミュニケーションが困難な場合に有効です。



メモ帳・ホワイトボード 筆談ボード タブレット・スマートフォン

筆談のポイント

- 字はていねいに書きましょう。
- 必要な事をできるだけ短い文章で書きましょう。
- 日にちや時間は具体的に書きましょう。
- わかりやすい言葉を使いましょう。
- イラストや図を使って伝えることも有効です。
- 相手の文章がわからない場合は、そのままにせず、確認しながらコミュニケーションをとりましょう。



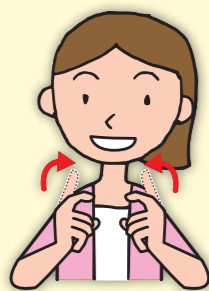
コミュニケーションボード

ボードのイラストに指をさして意思を伝えあう方法です。筆談や会話によるコミュニケーションが難しい場合に有効です。



手話

耳や言語に障害がある人とのコミュニケーション方法としてよく知られています。手や腕の動き、手の形や位置、顔の表情で思いを伝えあいます。



「こんにちは」

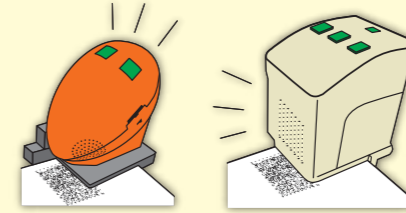


「ありがとう」



音声コード

専用の機器やスマートフォンのアプリなどで読み取ることで、情報を音声で聞くことができる二次元コードです。視覚障害の人や字を読むことが困難な場合にも有効です。



点字

視覚障害の人が読んだり、書いたりするための文字です。たて3点、よこ2点の6点の突起の組み合わせで作られています。点字はすべて横書きで、左から右へ読みます。

ぶ	ん	きよ	—	<
●●	●●	●●	●●	●●
●●	●●	●●	●●	●●
●●	●●	●●	●●	●●

ヘルプカード (文京区)

障害のある人が、日常生活の中で困った時や、緊急時に周囲の人に手助けを求めるときに、必要な配慮や連絡先が記載されているカードです。



ヘルプマーク (東京都)

義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病、妊娠初期など外見からは援助や配慮が必要なことが分かりにくい人が身に付けて、周囲の人に知らせることで、援助や配慮を得やすくなるようにしたマークです。



私たちがサポートできること

- カードの内容に沿って支援や配慮をお願いします。
- 相手に伝わっているか確認しながら、ゆっくり話してください。
- 電車やバスでは、席をゆずるなどの配慮をお願いします。障害や症状により、疲れやすい人や、つり革や手すりにつかまり続けることが難しい人もいます。
- 困っている様子を見かけた際には、声をかけるなどの支援をお願いします。

